

漁海況情報

第596号 (令和4年2月16日)

発行: 山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

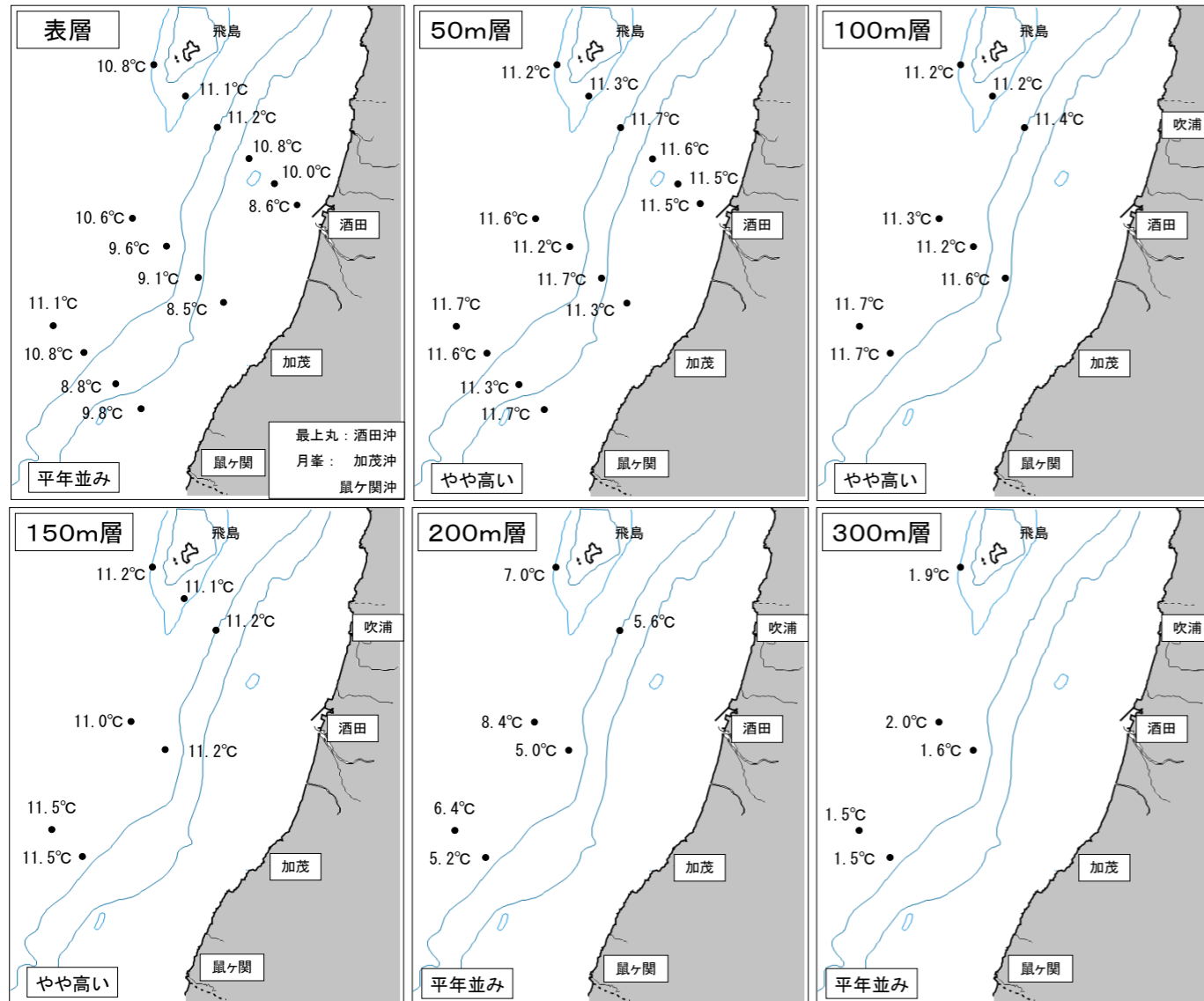
- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産研究所「最上丸」は、1月25日および26日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層、200m層および300m層は「**平年並み**」、50m層から150m層は「**やや高い**」でした。
- ・1月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産研究所)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「**やや低い**」でした。
- ・寒ダラ漁は、2月上旬は51トン(前年比345%、平年比78%)、2月上旬までの累計では116トン(前年比119%、平年比70%)となっています。
- ・2月9日に実施したたら場の水温観測の結果は、表層から150m層は「**平年並み**」から「**かなり低い**」で、200m層以深は「**やや高い**」から「**かなり高い**」でした。

各層別の平均水温(2月上旬分観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	10.2	11.5	11.4	11.2	6.3	1.7
前年差	-0.8	-0.4	-0.5	+0.0	+0.2	+0.2
平年差	-0.0	+0.5	+0.5	+1.0	-0.3	+0.0
評価	平年並み	やや高い	やや高い	やや高い	平年並み	平年並み

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

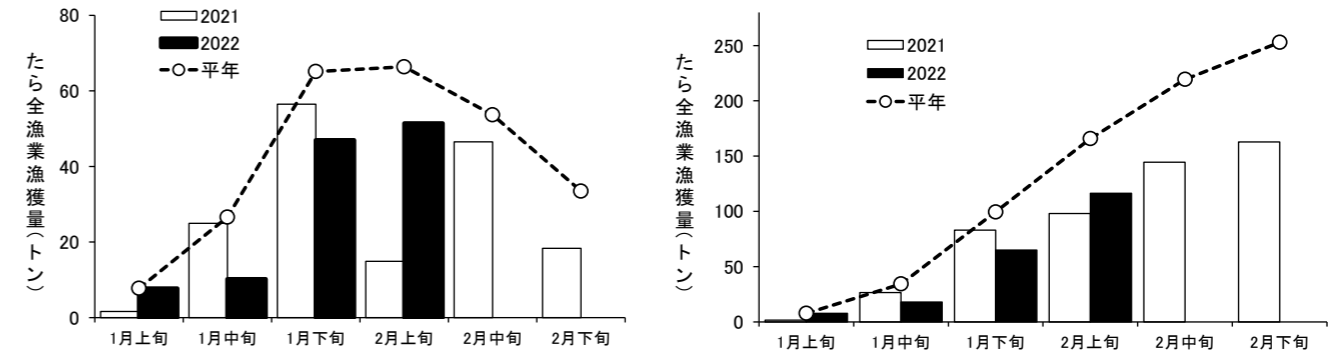


1月地先平均水温

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	7.6	-1.7	-0.9	やや低い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	9.7	-1.1	-0.8	やや低い

2022年寒ダラ漁獲状況(2月上旬まで)



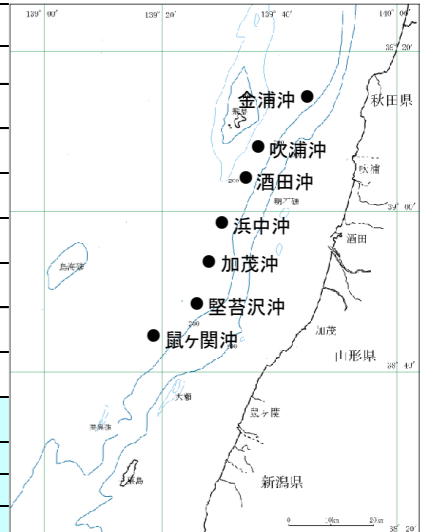
寒ダラ漁獲量(左:旬計、右:累計)

●2022年の寒ダラ漁獲量は、2月上旬までで116トン(過去20年平均比70%)でした。

2月上旬(2022年2月9日)のたら場水温

たら場水温観測結果(2022年2月9日 最上丸 観測) ※平年=2011~2021年の1月下旬~2月上旬たら場観測結果の平均

漁場	ロラン 3局	水深 ヒロ	水温(平年差)(℃)		
			200m	250m	300m
鼠ヶ関沖	3064	237	9.3(+2.3)	4.2(+1.0)	2.3(+0.4)
堅苔沢沖	2978	214	8.9(+1.7)	4.5(+1.5)	—()
加茂沖	2893	292	8.7(+1.6)	3.6(+0.6)	2.1(+0.3)
浜中沖	2818	266	9.0(+2.3)	4.1(+1.0)	2.2(+0.4)
酒田沖	2769	216	9.7(+2.7)	3.6(+0.6)	1.9(+0.2)
吹浦沖	2682	214	10.4(+3.3)	3.6(+0.5)	1.8(+0.1)
金浦沖	2625	213	9.7(+2.4)	4.4(+1.4)	2.1(+0.2)
平均			9.4	4.0	2.0
前年(2021年)との差			+0.7	+0.5	+0.2
前回(2022年1月25、26日)との差			+4.1	+1.6	+0.5
平年(2011~2021年)との差			+2.4	+0.9	+0.3
評価			かなり高い	かなり高い	やや高い



評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

●200m層、250m層は「**かなり高い**」、300m層は「**やや高い**」でした。表層~150m層は「**平年並み**」から「**かなり低い**」となっています。

1月の漁況

- 延べ操業隻数は430隻で前年比57%、総漁獲量は147トンで前年比44%でした。時化による底びき網漁業の漁獲減に加えて、いか一本釣り漁業および船凍いか釣り漁業の不振が主な要因です。
- 底びき網漁業の漁獲量は113トンで前年比78%でした。ハタハタ、ホッケ、サメ類、ヤリイカ、紅エビおよびタコ類は前年を下回りました。
- はえなわ漁業の漁獲量は2.7トンで前年比59%でした。フグ類およびメバル類は前年を上回り、タイ類およびノドグロ(アカムツ)は前年を下回りました。
- その他の漁業では、さし網漁業のヤリイカは前年を上回り、いか一本釣り漁業のスルメイカ、かご漁業のタコ類、採貝藻漁業のアワビ、サザエおよびナマコは前年を下回りました。

* 前年比は平成29～令和3年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	28	68	64	11	88	39	5	127	430	65%	57%
総漁獲量	7,758	2,998	33,996	20,868	23,274	8,503	59	49,590	147,045	52%	44%
前年比	95%	45%	27%	110%	65%	71%	15%	69%	52%		
前年比	55%	44%	18%	113%	80%	79%	10%	78%	44%		

底びき網漁業

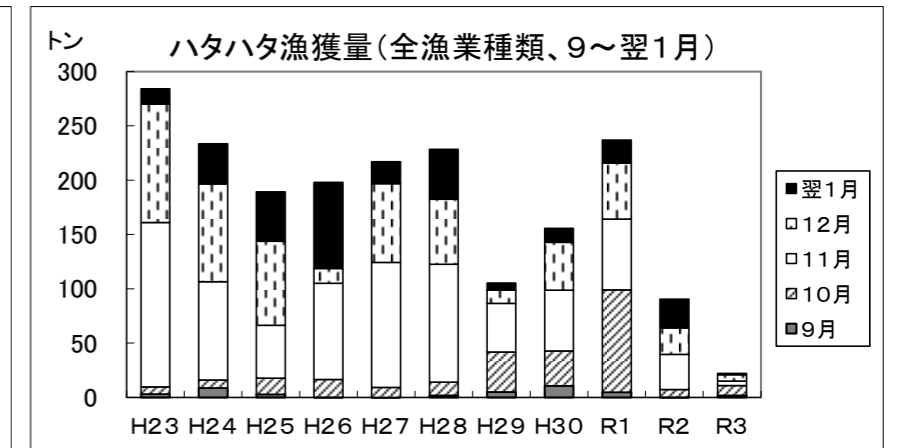
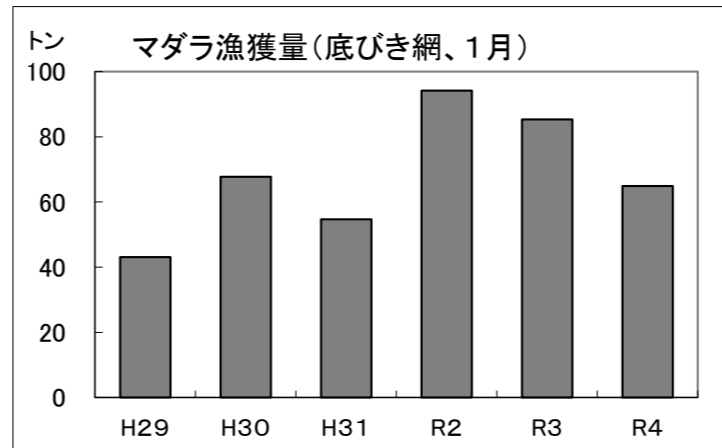
支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	12	28	35	16	72	163	78%	72%
タイ類	100	4,776	228	178	9,672	14,954	148%	101%
ヒラメ	111	46	126	231	352	866	171%	113%
カレイ類	401	603	891	913	2,705	5,513	135%	98%
ハタハタ	252	242	150	159	452	1,254	5%	6%
ホッケ	48	330	3	8	131	520	14%	23%
アンコウ	239	266	438	181	1,061	2,184	102%	115%
マダラ	4,482	17,600	17,052	5,250	20,501	64,885	76%	94%
サメ類	163	459	40		476	1,137	202%	47%
ヤリイカ	12	78	48	58	2,203	2,398	78%	76%
ズワイガニ	42	172	814	96	652	1,776	116%	103%
紅エビ (ホッコクアカエビ)	190	706	1,156	294	6,145	8,490	122%	84%
タコ類	95	148	107	74	298	721	48%	73%
その他	581	2,576	968	722	3,534	8,381		
計	6,715	28,001	22,020	8,162	48,181	113,079	73%	78%
前年比	95%	74%	78%	70%	69%	73%		
前年比	54%	79%	88%	80%	78%	78%		

はえなわ漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	6	2	2	12	8	1	20	51	138%	70%
タイ類				38		2	200	240	87%	27%
フグ類	386	70	28	525	108	39	462	1,620	217%	174%
ノドグロ (アカムツ)			10	26		5	120	161	66%	54%
メバル類		68	1	21	8	5	22	124	300%	189%
その他		20	3	52	125		331	530		
計	386	157	42	663	241	51	1,135	2,675	170%	59%
前年比	266%		235%	119%	271%	63%	165%	170%		
前年比	241%		3%	91%	64%	12%	84%	59%		

その他の漁業

漁業種類	いか一本釣り漁業	さし網漁業	かご漁業	採貝藻漁業			
延べ操業隻数	31	23	21	101			
総漁獲量		768	1,184	965			
前年比		722%	79%	46%			
前年比		409%	55%	39%			
主な対象魚種	スルメイカ	ヤリイカ	タコ類	アワビ	サザエ	ナマコ	ノリ
漁獲量	5,935	696	1,184	87	373	269	234
前年比	8%	803%	79%	26%	30%	64%	279%
前年比	8%	894%	55%	17%	31%	47%	111%



最上丸の調査予定(2月中旬～3月上旬)

- 海洋観測を行います。
- はえ縄によるトラフグ分布調査を行います。
- サケの稚魚調査を行います。

みなさま、調査への御協力。御理解よろしくお願ひします。

